

もりや仙一郎便り

県政報告
Vol.1



生の声を県政へ

各分野での活動報告

ごあいさつ

天童にも春の足音がしつかりと聞こえるようになりました。皆様におかれましては、お元氣のご様子と思います。

おかげさまで、昨年の県議選で、初当選させて頂いてから精力的に行動しております。

さて、百年に一度の経済危機に瀕するいま、国においても景気対策に重要施策を組んでおり、わが山形県でも緊急対策として、七百億円の予算を計上しております。そして、骨格予算で二十一年度の一般会計予算が5589億1300万円が決定いたしました。

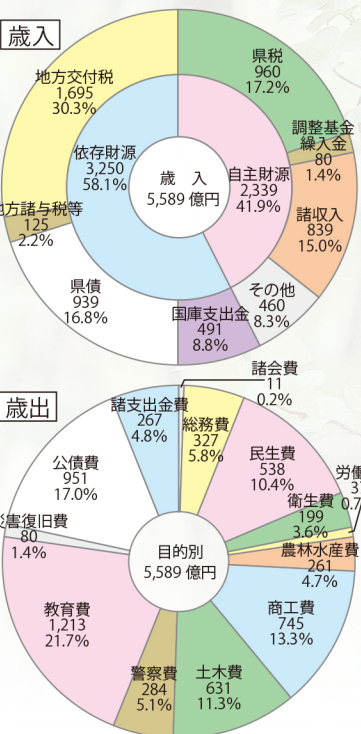
六月の定例会では内付予算の補正が組まれようとしております。

私は天童市民の皆様へ、この紙面を通して、県政の情報を提供したいと思っております。

なお、皆様のご意見をお待ち申し上げます。

ます。

平成21年度山形県予算



山形県に停滞は許されない。景気・雇用・生活安定への提言、大きく反映されました。待ったなしの経済対策は多くの県民より求められた声を反映されました。昨年未より県当局へ政策提言などの折衝を重ねた結果の予算となりました。しかし知事交代直後でもあり、多くの課題が浮かび上がっています。

2月の定例会で示された経済対策予算

- 農林水産業の振興へ** 33億円
 - カントリーエレベーター、ライスセンター等の補修に対する支援
 - さくらんぼ雨除け施設の整備及び補修などに対する支援
 - 農林水利施設の緊急補修
- 安全・安心の確保へ** 125億円
 - 老人保健福祉施設等のスプリンクラー設置に対する支援
 - 県立学校の耐震改修、公立小中学校等の耐震診断に対する支援
 - 離職者の早期再就職を促進するための職業訓練の実施
 - 橋梁の長寿命化対策
- 地域の活力増進のため** 42億円
 - 公共事業の追加による交流機能の強化【道路・港湾】
 - モンテディオ山形のJ1昇格に伴う競技場の改修等

速やかな施行へ全会一致の可決

さらなる議論と対話が必要な課題

- ◆骨格予算により、具体化されていない事業について
- ◆最上川の世界文化遺産登録を目指した県民運動の見直し
- ◆実績・評価の上がってきている山形セレクションの見直し
- ◆雇用創出1万人プラン実現への具体的な政策が示されない



知事が、常々おっしゃっている「対話」で、是非多くの意見を聞いて頂きたいと思っております。



県議会議員となつて、初の視察です。一生懸命な命を懸けて頂き、大いに参りました。



プレミアム商品券

同商品券は1人5セットまで購入可能で、今年の7月31日(有効期限)まで購入可能です。

取り扱い加盟店のお問い合わせは天童商工会議所023-1654-135まで。

山形セレクションと最上川

関西方面へ行政視察

二月九日から十一日までの二泊三日の行程で、初めての行政視察に参加してきました。内容は山形県大阪事務所、東大阪市のハイテク工業の特許をとっているダブルナット製品作りの工業を見学、その後、大阪府においてのドクターヘリの説明や、京都青果会同僚の京野菜のブランド化への取り組み、そして、京町屋の景観作りなどを勉強して参りました。

街ネタ！旬な話題を提供

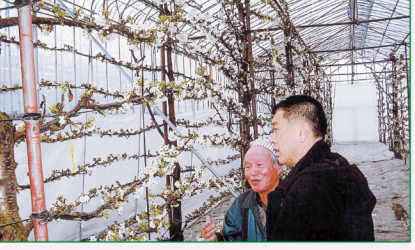
天童トピックス

天童市商店街連合会を発行元に、「天の童プレミアム商品券AKINDO」が4月2日から発売されます。

活動日記

様々な分野で話題解決の調査・確認を行っています

2/8 ハウスサクランボ視察



千布地区で農家を営んでおられる今田さんにご協力頂き、ハウスさくらんぼの視察を行いました。夏に向けての開花状況を確認し、出荷までの説明をお聞きしました。

2/26 果樹剪定講習会



前東根果樹研究会連合会長の武田さんを招き、山口果樹研究会が開催されました。豊作を祈願しての同会は、大勢の農家の方が出席し、講習会では皆さん熱心に話を聞いておられました。

2/26 立志式



天童市立第二中学校の立志式が開催され、私も評議員の一人として、拝見させて頂きました。生徒の皆さんは、心新たに志を立てたようです。発表された決意の言葉はとても凛々しく、感慨深いものでした。

3/15 押切川の河川改修



中山口地区にある押切川に、地域の皆様より河川改修の要望を頂き、視察してまいりました。現場では、貴重なご意見・生の声を聞かせて頂き、今後に繋がる大変有意義な視察となりました。

もりや仙一郎事務所

ご意見を募集しております。FAX・メール・ブログで頂けると幸いです。

☎023-658-2355 FAX023-658-2356

〒994-0103 天童市大字川原子 1640

もりや仙一郎

検索

http://blog.goo.ne.jp/furusato-08
ブログにて、日頃の活動の報告を公開しております。



QRコードでアクセス

ご意見をお寄せ頂きました

声 森谷仙一郎ブログより

3月5日の一般質問の中で最上川世界遺産の見直しについて知事に考えを問う質問が出ました。内容は費用対効果を考えるといかがかと思うがこれまでの経過もあり事業継続もありうる。昨日までとは違つての発言で驚いているところです。確かに選挙中はそのように思ったが議会が始まったら考えが変わってきた。そのような考えにしか受けとられない。何も反対しようとして聞いているわけではない。ただこのように変わるのはいかがかなものなのかと思ひます。

市民として (3月5日ブログに投稿)

最上川の世界遺産登録に関しては、とても関心があります。しかし、これまでの事業経過や継続など、どれだけの県民が関心を持っているのか、「世界遺産」と言われてもピンとこない人が相当いるのでは？私のように大変良いことと思つてはいるものの、はたして何をすればいいのか？どうなればいいのか？もうちょっと皆様に伝わるようにしていかなければ、県民をもっと巻き込んで事業をしていかなければ、一生懸命がばっている人たちの、ただの自己満足に過ぎない...そう思つてしまうのでは？私も何かに携われば意識は大分変わると思ひます。

